

レシピ 大阪青山大学

●材料 2人分

ダイコン …… 100g<sup>2</sup>(直径約6cm厚さ約4cmのもの2個)  
 鶏ひき肉 …… 40g<sup>2</sup>  
 サヤインゲン …… 2本  
 だし …… 2杯  
 [A]…八丁みそ・砂糖(各大さじ1)、ユズ果汁(少々)  
 [B]…だし(1/2カップ)、薄口しょうゆ(小さじ1)、水溶き片栗粉(少々)、ユズ果汁(少々)

熱量(おとな1人分): 121kcal、塩分: 1.6g

●作り方

- ①ダイコンは皮をむいて面取りし、底面に十字に切り込みを入れる。竹串が通るまで下ゆでしたら、上部約0.5cm輪切りにし、ふたと器を作る。器は深さ約2cmにくり抜く。
- ②①をだしで煮て、下味をつける。鶏ひき肉とサヤインゲンは下ゆでする。
- ③ダイコンのくりぬいた部分をみじん切りにし、鶏ひき肉、[A]と練り合わせて、ダイコンの器に詰める。
- ④[B]を鍋で熱してあんを作る。とろみがついたら、ふたをした③にかけ、細切りにしたサヤインゲンを飾る。



## 鶏みそ入りふろふき大根

ひと手間かけた冬のおもてなし料理

消費生活センターだより

消費生活センター  
☎(740)1167

### 専門家が答える質問サイト

#### 無料だと思ったら費用が発生 月額利用料を請求されることも

**事例1** パソコンでメールが使えなくなり、何とかしようと思ってパソコンメーカーの名前で検索した。一番上に表示されたサイトをクリックしたら、問い合わせフォームが出てきた。メーカーの質問サイトだと思い、必要事項やクレジットカード番号を入力した。すぐにメールで回答が届いたが、質問した相手はパソコンメーカーではなく有料の質問サイトだと分かった。クレジットカードで500円が決済され、会員登録もされていた。有料の質問サイトだとは気が付かなかった。解約したい。(70歳代 男性)

**事例2** 夜、急に耳の奥が痛くなった。不安になり、症状をインターネットで検索したら、質問に医師が回答するというサイトを見つけた。会員登録をしてクレジットカードで料金500円を決済し、質問を送ったら「耳鼻咽喉科に行ってください」と返信があった。翌朝痛みはなくなり、結局病院へは行かなかった。1週間後、サイトから月額利用料を請求するメールが届いた。会員登録はしたが、毎月の料金が必要だとは知らなかった。払いたくない。(60歳代 女性)

インターネット上で「専門家がお答えします」と広告をしている質問サイトについて相談が多く寄せられています。「有料だと分からなかった」「会員登録されていて月額利用料を請求された」などの相談があります。

サービスを利用する前に、料金や利用規約などを確認するようにしましょう。海外事業者が運営するサイトなどの場合は、解約の手続きが分かりにくいこともあります。困ったことがあれば、消費生活センターに相談してください。

生きる

人権推進課  
☎(740)1150

### 他人事では身近な差別に気付かない

#### 3つの解消法の成立で求められるのは 自分に置き換えて考えること

昭和44年以降、同和対策事業特別措置法により、同和地区のインフラ整備などが行われ、地域の生活環境の改善が進みました。同法はその後名称を変え、平成14年まで続きました。また、平成28年には初めて部落差別に言及した、部落差別解消を推進する部落差別解消推進法が成立しました。さらに同年、障がいや理由とする差別の解消を推進するための障害者差別解消推進法と、外国人に対する不当な差別的言動をなくしていくためのヘイトスピーチ解消推進法が制定されました。

このように、現在の人権問題は部落差別だけでなく障がい者差別や外国人差別、そしてLGBTの差別など多様化しています。また地域によって抱える問題や課題も違うので、関心のあるテーマも人それぞれです。だからこそ人権や差別についての関心を高め、意識の向上をめざす必要があります。人権研修や講演会を実施したときに、参加した人が自分に置き換えて考え、他人事とならないようにしなければなりません。

実際に差別が起きているのを目の当たりにしないと、差別があるという実感は湧かないものです。現実からかけ離れた事柄としか捉えることができないと、差別に対する意識は希薄なものになり、差別的な発言に気付かなくなってしまいます。3つの解消法の成立によって、私たちは一層人権について深く考えていくことが求められています。差別を他人事としないで身近な問題として捉え、他人を尊重することが求められるのです。

(緑台小学校区人権啓発推進委員会委員長 矢野端)